

自動送受信パック Verアップ マニュアル

平成 23 年 7 月 6 日 2 版

- Verアップ作業に必要なパッチプログラムについては、下記問い合わせ先に
ご利用いただいている自動送受信パックのVerを明記の上メールにてご請求下さい
- Verアップ作業を行う前に**必ず**現行環境のを**バックアップを取る**ようにして下さい。
→ 『C:¥Program Files¥BACREX¥Option¥H¥AutoSdRvV3』フォルダの
バックアップを取って下さい。
- ご不明な点がございましたら、下記問い合わせまでご連絡下さい。
問い合わせ先：けいしんシステムリサーチ株式会社 (K S R)
TEL:075-361-2101 担当：石岡

■ 自動送受信パック V3.0 → V3.1

製品のバージョンアップ

■ 対象製品バージョン ■

1) 下記製品のバージョンに該当する場合、PatchAutoH3100.exeのパッチを適用して下さい。

自動送受信パックV3の [バージョン] ボタンより、下記製品のバージョンを確認して下さい。

メジャーバージョン V3.0

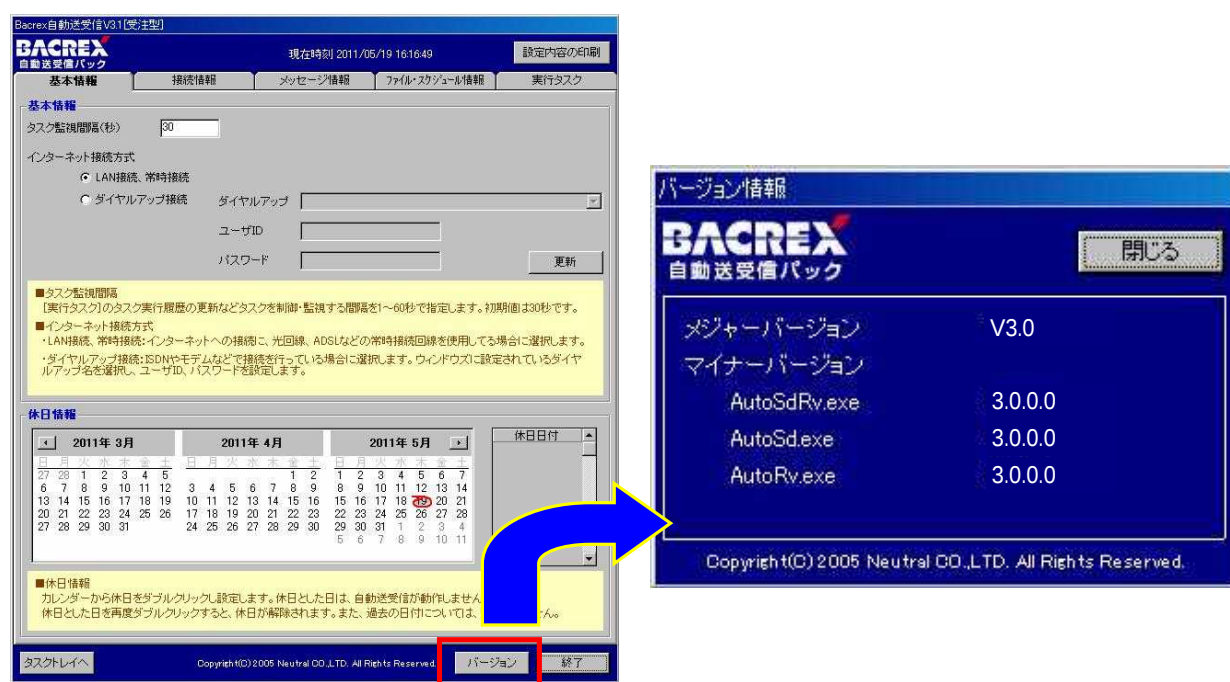
マイナーバージョン

AutoSdRv.exe 3.0.0.7以前

AutoRd.exe 3.0.0.7以前

AutoSd.exe 3.0.0.7以前

**[バージョン] ボタンが表示されない場合は、無条件に本パッチを適用して下さい。
自動送受信パックV2.2D以前からのアップデートには対応しておりません。**



■ インストール方法 ■

1) PatchAutoH3100.exeを任意のディレクトリに保存します。

2) 自動送受信パックV3を実行中の場合は、これを終了します。

3) 保存した自己解凍形式ファイルを実行 (ダブルクリック) します。

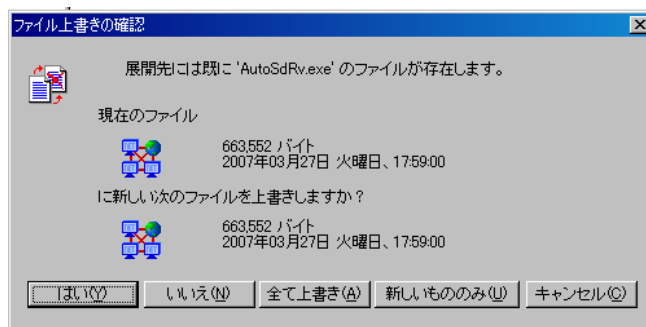
ファイルの解凍先に、自動送受信パックV3のインストールディレクトリを指定します。

デフォルトのインストールディレクトリは下記の通りです。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3

4) 正常に解凍されればOKです。

図のような【ファイル上書き確認】ダイアログが表示される場合があるので、【はい】ボタンを押下して処理を進めて下さい。



■ 確認方法 ■

- 1)自動送受信パックV3を起動します。
- 2)画面右下の [バージョン] ボタンをクリックします。
- 3)下記の通りバージョン情報が表示されることを確認します。

メジャーバージョン V3.1

マイナーバージョン

AutoSdRv.exe 3.1.0.0

AutoSd.exe 3.1.0.0

AutoRd.exe 3.1.0.0

■ 注意事項・その他 ■

- 1)PatchAutoH3100.exe、このバージョン以前に公開された全Releaseの機能追加・不具合対応を含みます。

- 2)MDBのコンバートについて

自動送受信パックV3.0より自動送受信パックV3.1へアップデート後

MDBのコンバートを行うことが必要となります。

必ず、コンバートツールをダウンロードしデータの移行を行ってください。

注意：自動送受信パックV3.1で設定を変更後、再度移行処理を行った場合、自動送受信パックV3.0の情報で上書きされてしまいます。

データベースのバージョンアップ

■ インストール方法 ■

- 1) ConvertH3101.exeを任意のディレクトリに保存します。
- 2) 自動送受信バックV3を実行中の場合は、これを終了します。
- 3) 保存した自己解凍形式ファイルを実行（ダブルクリック）します。
ファイルの解凍先に、自動送受信バックV3のインストールディレクトリを指定します。
デフォルトのインストールディレクトリは下記の通りです。
C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3

■ 起動方法 ■

- 1) Windowsの [スタート] ボタンをクリックして、メニューを表示させ、
[ファイル名を指定して実行] をクリックします。



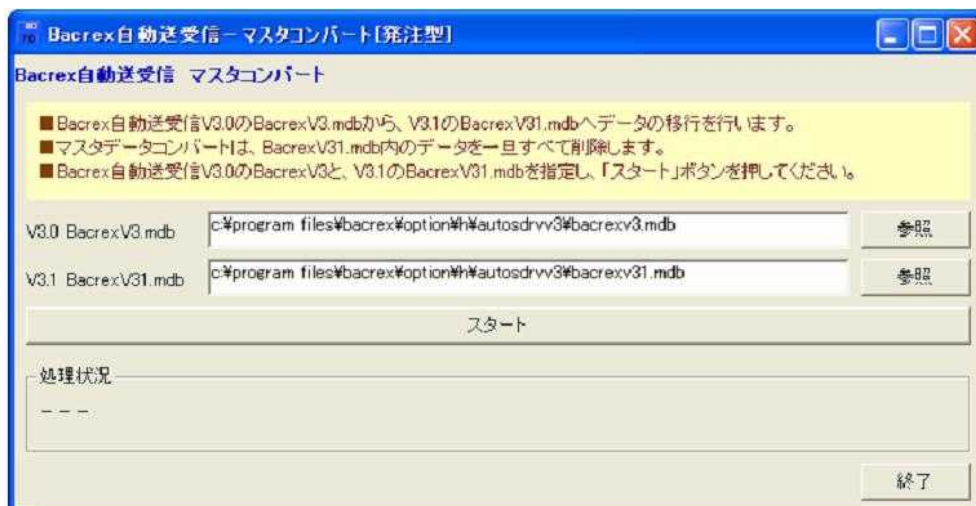
- 2) [名前] に次のように入力します。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\ConvertV31.exe

[C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3] は、自動送受信プログラムをインストールしたディレクトリを指定します。

[OK] ボタンをクリックすると、変換プログラムが起動します。

■ 移行方法 ■



1)自動送受信パックV3.0のmdbファイルのパスを指定します。

初期表示は、自動送受信パックをデフォルトでインストールした場合のファイルを表示しています。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\BacrexV3.mdb

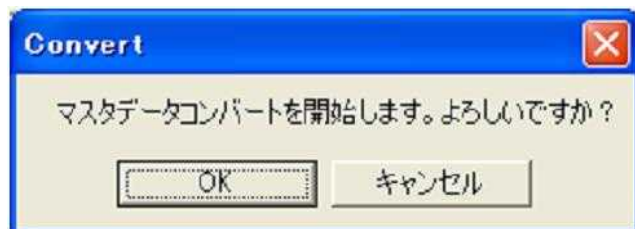
2)自動送受信パックV3.1のmdbファイルのパスを指定します。

初期表示は、自動送受信パックをデフォルトでインストールした場合のファイルを表示しています。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\BacrexV31.mdb

自動送受信パック V3.0、V3.1 とともに、デフォルトにインストールされている場合、V3.0 BacrexV3.mdbのパス、V3.1 BacrexV31.mdbのパスが、初期値として設定されます異なるディレクトリにインストールを行った場合は、[参照]ボタンをクリックし、それぞれのmdbファイルを指定してください。

3) [スタート] ボタンをクリックし、データの変換を行います。



4)データの変換結果を確認します。



処理状況欄に「データコンバートは正常に終了しました。」と表示されていることを確認します。

データ変換途中にエラーとなる場合は、本変換プログラムによるデータ変換が行えません。「ユーザズマニュアル」に従い、マスタの設定を行ってください。

5)終了します。[終了] ボタンをクリックします。

注意：自動送受信パックV3.1で設定を変更後、再度移行処理を行った場合、自動送受信パックV3.0の情報で上書きされてしまいます。

■ 自動送受信パック V3.1 → V3.2

製品のバージョンアップ

■ 対象製品バージョン ■

1) 下記製品のバージョンに該当する場合、PatchAutoH3203.exeのパッチを適用して下さい。

自動送受信パックV3の[バージョン] ボタンより、下記製品のバージョンを確認して下さい。

メジャーバージョン V3.2

マイナーバージョン

AutoSdRv.exe 3.2.0.2

AutoRd.exe 3.2.0.1

AutoSd.exe 3.2.0.1

→ 該当する場合は、
『インストール方法』を参照して下さい。



2) 上記製品のバージョンに該当しない場合。

V2.2D以前からのアップデートには対応しておりません。

自動送受信パックV3以降をご購入のうえ、必要であればアップデートしてください。

V3.0からアップデートする場合（メジャーバージョンがV3.0の場合）

直接V3.2へアップデートすることは出来ません。

MDBのみV3.1へアップデートしたのち、V3.2へアップデートする必要があります。

V3.1からアップデートする場合（メジャーバージョンがV3.1の場合）

MDBをV3.2へアップデートする必要があります。

[バージョン] ボタンが表示されない場合も、V3.0の場合と同様となります。

■ インストール準備 ■

1) V3.1からアップデートする場合、まずはMDBのコンバートを行います。

既にV3.2へアップデート済みの場合は必要ありません。

2) ConvertH3200.exeを任意のディレクトリに保存します。

3) 自動送受信パックを実行中の場合は、これを終了します。

4) 保存した自己解凍形式ファイルを実行（ダブルクリック）します。

ファイルの解凍先に、自動送受信パックのインストールディレクトリを指定します。

デフォルトのインストールディレクトリは下記の通りです。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3

■ 起動方法 ■

1) Windowsの [スタート] ボタンをクリックして、メニューを表示させ、

[ファイル名を指定して実行] をクリックします。



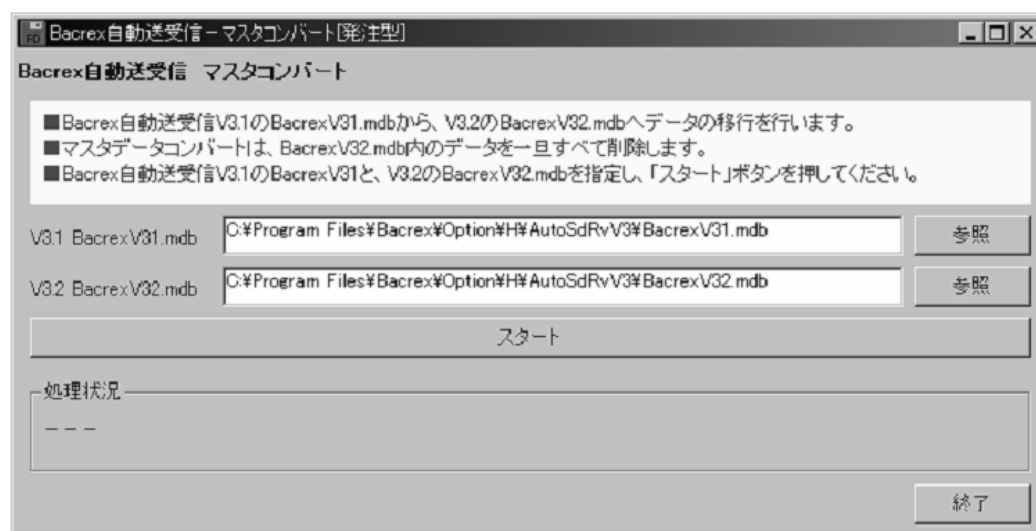
2) [名前] に次のように入力します。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\ConvertV32.exe

[C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3] は、自動送受信プログラムをインストールしたディレクトリを指定します。

[OK] ボタンをクリックすると、変換プログラムが起動します。

■ 移行方法 ■



1) 自動送受信パックV3.0のmdbファイルのパスを指定します。

初期表示は、自動送受信パックをデフォルトでインストールした場合のファイルを表示しています。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\BacrexV31.mdb

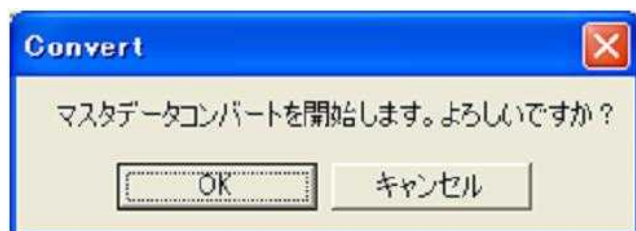
2) 自動送受信パックV3.2のmdbファイルのパスを指定します。

初期表示は、自動送受信パックをデフォルトでインストールした場合のファイルを表示しています。

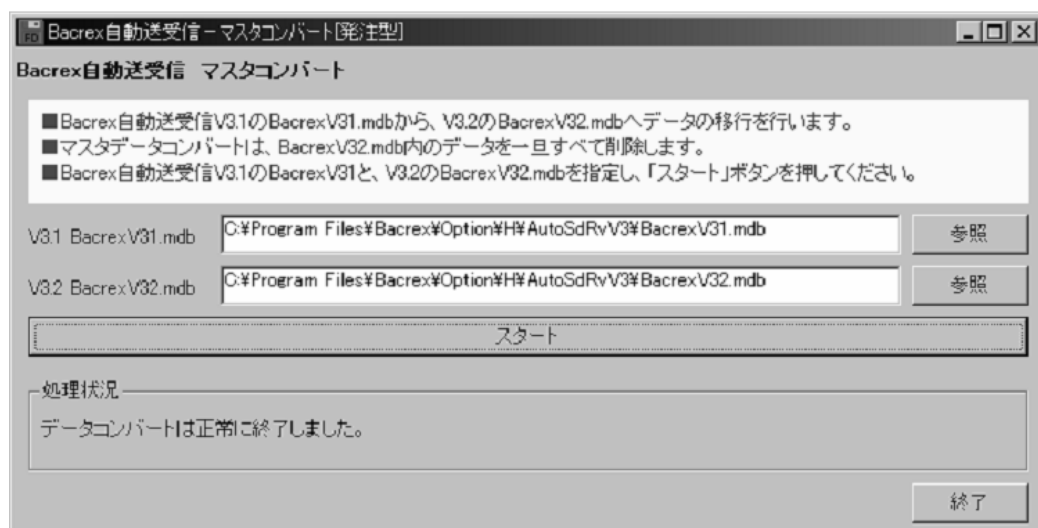
C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\BacrexV32.mdb

自動送受信パック V3.1、V3.2 とともに、デフォルトにインストールされている場合、V3.1 BacrexV31.mdbのパス、V3.2 BacrexV32.mdbのパスが、初期値として設定されます。異なるディレクトリにインストールを行った場合は、[参照] ボタンをクリックし、それぞれのmdbファイルを指定してください。

3) [スタート] ボタンをクリックし、データの変換を行います。



4) データの変換結果を確認します。



処理状況欄に「データコンバートは正常に終了しました。」と表示されていることを確認します。

データ変換途中にエラーとなる場合は、本変換プログラムによるデータ変換が行えません。「ユーザズマニュアル」に従い、マスタの設定を行ってください。

5) 終了します。[終了] ボタンをクリックします。

注意：自動送受信パックV3.2で設定を変更後、再度移行処理を行った場合、自動送受信パックV3.1の情報で上書きされてしまいます。

自動送受信パックV3.0のMDBを直接V3.2のMDBへアップデートすることは出来ません。MDBをV3.1へアップデートする必要があります。

■ インストール方法 ■

1) PatchAutoH3203.exeを任意のディレクトリに保存します。

2) 自動送受信バックを実行中の場合は、これを終了します。

3) 保存したファイルを実行（ダブルクリック）します。

自動送受信バックのインストールディレクトリを指定します。

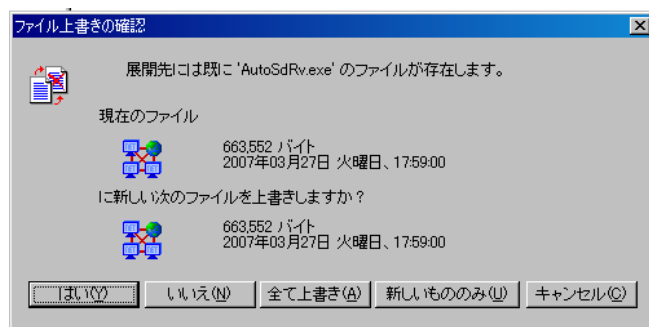
デフォルトのインストールディレクトリは下記の通りです。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3

4) 正常に解凍されればOKです。

図のような【ファイル上書き確認】ダイアログが表示される

場合がありますので、【はい】ボタンを押下して処理を進めて下さい。



■ 確認方法 ■

1) 自動送受信バックを起動します。

2) 画面右下の [バージョン] ボタンをクリックします。

3) 下記の通りバージョン情報が表示されることを確認します。

メジャーバージョン V3.2

マイナーバージョン

AutoSdRv.exe 3.2.0.3

AutoSd.exe 3.2.0.3

AutoRd.exe 3.2.0.3

■ 注意事項・その他 ■

1) PatchAutoH3203.exeは、全Releaseの機能追加・不具合対処を含みます。

■ 自動送受信パック V3.2 → V3.3

製品のバージョンアップ

■ 対象製品バージョン ■

1) 下記製品のバージョンに該当する場合、PatchAutoH3300.exeのパッチを適用して下さい。

自動送受信パックV3の[バージョン] ボタンより、下記製品のバージョンを確認して下さい。

メジャーバージョン V3.2

マイナーバージョン

AutoSdRv.exe 3.2.0.3

AutoRd.exe 3.2.0.3

AutoSd.exe 3.2.0.3

→ 該当する場合は、
『インストール方法』を参照して下さい。



2) 上記製品のバージョンに該当しない場合。

V2.2D以前からのアップデートには対応しておりません。

自動送受信パックV3以降をご購入のうえ、必要であればアップデートしてください。

V3.0からアップデートする場合（メジャーバージョンがV3.0の場合）

直接V3.2へアップデートすることは出来ません。

MDBのみV3.1へアップデートしたのち、V3.2へアップデートする必要があります。

V3.1からアップデートする場合（メジャーバージョンがV3.1の場合）

MDBをV3.2へアップデートする必要があります。

[バージョン] ボタンが表示されない場合も、V3.0の場合と同様となります。

■ インストール準備 ■

1) V3.1からアップデートする場合、まずはMDBのコンバートを行います。

既にV3.2へアップデート済みの場合は必要ありません。

2) ConvertH3200.exeを任意のディレクトリに保存します。

3) 自動送受信パックを実行中の場合は、これを終了します。

4) 保存した自己解凍形式ファイルを実行（ダブルクリック）します。

ファイルの解凍先に、自動送受信パックのインストールディレクトリを指定します。

デフォルトのインストールディレクトリは下記の通りです。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3

■ 起動方法 ■

1) Windowsの [スタート] ボタンをクリックして、メニューを表示させ、

[ファイル名を指定して実行] をクリックします。



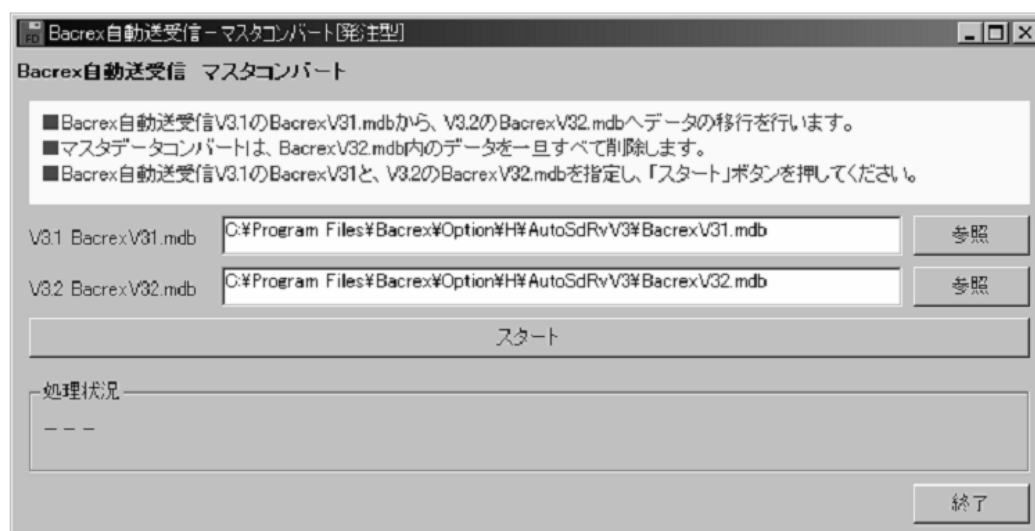
2) [名前] に次のように入力します。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\ConvertV31.exe

[C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3] は、自動送受信プログラムをインストールしたディレクトリを指定します。

[OK] ボタンをクリックすると、変換プログラムが起動します。

■ 移行方法 ■



1) 自動送受信パックV3.0のmdbファイルのパスを指定します。

初期表示は、自動送受信パックをデフォルトでインストールした場合のファイルを表示しています。

C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\BacrexV31.mdb

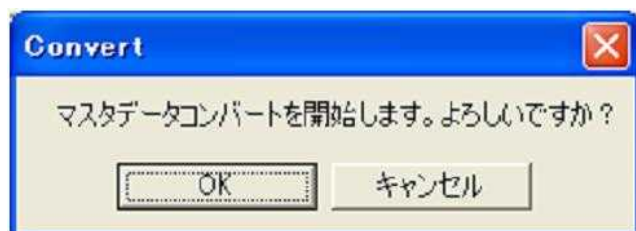
2) 自動送受信パックV3.2のmdbファイルのパスを指定します。

初期表示は、自動送受信パックをデフォルトでインストールした場合のファイルを表示しています。

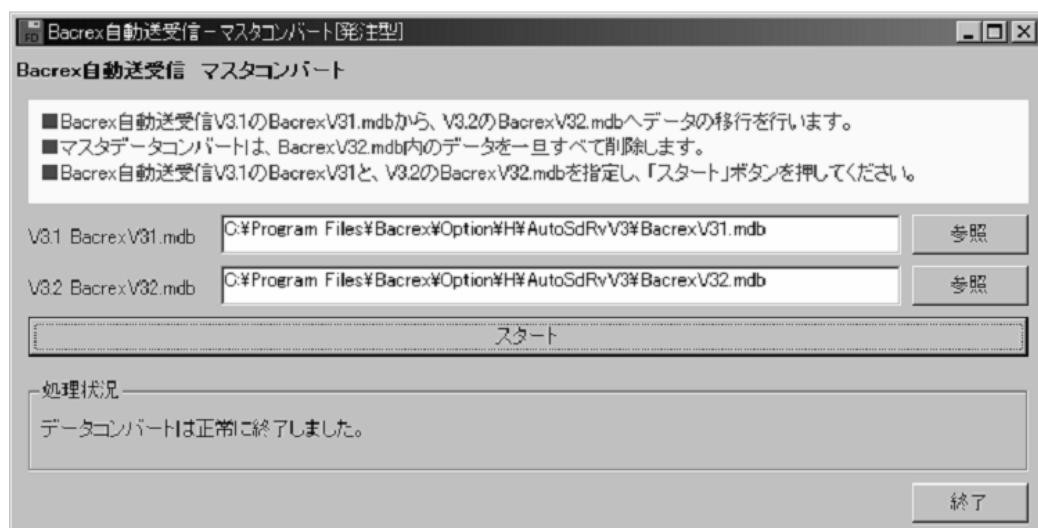
C:\Program Files\Bacrex\Option\H\AutoSdRvV3\BacrexV32.mdb

自動送受信パック V3.1、V3.2 とともに、デフォルトにインストールされている場合、V3.1 BacrexV31.mdbのパス、V3.2 BacrexV32.mdbのパスが、初期値として設定されます。異なるディレクトリにインストールを行った場合は、[参照] ボタンをクリックし、それぞれのmdbファイルを指定してください。

3) [スタート] ボタンをクリックし、データの変換を行います。



4) データの変換結果を確認します。



処理状況欄に「データコンバートは正常に終了しました。」と表示されていることを確認します。

データ変換途中にエラーとなる場合は、本変換プログラムによるデータ変換が行えません。「ユーザズマニュアル」に従い、マスタの設定を行ってください。

5) 終了します。[終了] ボタンをクリックします。

注意：自動送受信パックV3.2で設定を変更後、再度移行処理を行った場合、自動送受信パックV3.1の情報で上書きされてしまいます。

自動送受信パックV3.0のMDBを直接V3.2のMDBへアップデートすることは出来ません。MDBをV3.1へアップデートする必要があります。

■ インストール方法 ■

- 1) PatchAutoH3300.exeを任意のディレクトリに保存します。
- 2) 自動送受信パックを実行中の場合は、これを終了します。
- 3) 保存したファイルを実行（ダブルクリック）します。
自動送受信パックのインストールディレクトリを指定します。
デフォルトのインストールディレクトリは下記の通りです。
C:¥Program Files¥Bacrex¥Option¥H¥AutoSdRvV3

■ 確認方法 ■

- 1) 自動送受信パックを起動します。
- 2) 画面右下の [バージョン] ボタンをクリックします。
- 3) 下記の通りバージョン情報が表示されることを確認します。

メジャーバージョン V3.3
マイナーバージョン
AutoSdRv.exe 3.3.0.0
AutoSd.exe 3.3.0.0
AutoRd.exe 3.3.0.0

■ 注意事項・その他 ■

- 1) PatchAutoH3300.exeは、全Releaseの機能追加・不具合対処を含みます。

株式会社さとう Web-EDIシステム BACREX自動送受信パック 設定表

■ 基本情報

項 目	設 定 値	備 考
タスク 監視間隔 (秒)	任意 (1 ~ 60秒)	デフォルト値で問題ありません。(値は任意ですが必ず指定が必要)
インターネット 接続方式	LAN接続、常時接続	常時接続をご利用の場合は、こちらを選択してください。
	ダイヤルアップ接続	ダイヤルアップ接続をご利用の場合は、こちらを選択してください。

■ 接続情報

項 目	内 容
接続名称	任意 (貴社で任意に接続名称をお決め下さい。)
接続URL	https://edi.sato-kyoto.co.jp/
ユーザーID	配布されているIDシートに記載されているユーザーIDを設定して下さい。
パスワード	配布されているIDシートに記載されているパスワードを設定して下さい。
PL/SQL仮想カートリッジ	/pls/hkuser1dad

■ メッセージ情報 ~ ご利用になるメッセージを設定して下さい ~

項 目	内 容
接続名	接続情報で登録した接続名称を指定して下さい。

No.	利用メッセージ	受信/送信
2	発注メッセージ	受信
61	ピッキングメッセージ	受信
13	受領メッセージ	受信
60	店別受領メッセージ	受信
4	商品改廃メッセージ	受信
15	支払メッセージ	受信
16	返品メッセージ	受信
5	タグメッセージ	受信
1	商品マスタメッセージ	送信
17	納品メッセージ	送信
14	請求メッセージ	送信
62	センター納品メッセージ	送信

No.	BACREX標準メッセージ	受信/送信
2	発注メッセージ	受信
61	新規追加	受信
13	受領メッセージ	受信
60	新規追加	受信
4	在庫メッセージ	受信
15	支払メッセージ	受信
16	返品メッセージ	受信
5	棚割メッセージ	受信
1	商品マスタメッセージ	送信
17	出荷メッセージ	送信
14	請求メッセージ	送信
62	新規追加	送信

 : 旧環境とメッセージNoが変わっていますので、ご注意下さい。

■ ファイル・スケジュール情報 ~ 各メッセージのスケジュールは、運用スケジュールを確認の上、貴社にてお決め下さい ~

項 目	内 容
接続名	接続情報で登録した接続名称を指定して下さい。
メッセージ種別	利用メッセージ名を選択し、「メッセージ詳細」「スケジュール」を登録して下さい。

項 目	内 容
圧縮・解凍機能	任意 (LZH形式が基本) 「LZH形式」を指定した場合 「使用しない」を指定した場合
圧縮ファイル名	商品マスタメッセージ 送信 SATO_TRADEMASTER.LZH -
	納品メッセージ 送信 SATO_DELIVERY.LZH -
	請求メッセージ 送信 SATO_REQUEST.LZH -
	センター納品メッセージ 送信 SATO_CENTER.LZH -
格納ファイル名	発注メッセージ 受信 SATO_ORDER.TXT SATO_ORDER.LZH
	ピッキングメッセージ 受信 SATO_PICKING.TXT SATO_PICKING.LZH
	受領メッセージ 受信 SATO_RECEIPT.TXT SATO_RECEIPT.LZH
	店別受領メッセージ 受信 SATO_STRRECEIPT.TXT SATO_STRRECEIPT.LZH
	支払メッセージ 受信 SATO_PAYMENT.TXT SATO_PAYMENT.LZH
	返品メッセージ 受信 SATO_RETURN.TXT SATO_RETURN.LZH
	タグメッセージ 受信 SATO_TAG.TXT SATO_TAG.LZH
	商品マスタメッセージ 送信 SATO_TRADEMASTER.TXT SATO_TRADEMASTER.LZH
	納品メッセージ 送信 SATO_DELIVERY.TXT SATO_DELIVERY.LZH
	請求メッセージ 送信 SATO_REQUEST.TXT SATO_REQUEST.LZH
	センター納品メッセージ 送信 SATO_CENTER.TXT SATO_CENTER.LZH
格納ディレクトリ	任意 (貴社で任意にお決め下さい。)
リトライ回数	任意 (送受信に失敗した際のリトライする回数を設定して下さい。)
リトライ間隔 (分)	任意 (送受信に失敗した際のリトライ間隔を設定して下さい。)
起動プログラム	正常終了時 任意 (起動プログラムがある場合は指定して下さい。)
	異常終了時 任意 (起動プログラムがある場合は指定して下さい。)
	0件受信時 任意 (起動プログラムがある場合は指定して下さい。)
受信ファイルの上書き	任意 (貴社で任意にお決め下さい。)